# 令和6年度 地質調査技士資格検定試験 受験願書 「現場調査部門」

※印欄には記入しないで下さい

受	験	地					地区協会		<b>.</b>		受験	*	現場調査	E部門
※いず	<b>調査</b> : れか1~	つを○で	土	質	• ;	岩 盤	理事長日				番号 番号			
7	私は地質調査技士資格検定試験を受験いたしたく地質調査技士資格検定試験規程第6条													
に見	に基づき写真及び関係書類を添えて申し込みます。													
	令利	泊6年	月	日										
	氏名													
	一般社団法人 全国地質調査業協会連合会 殿													
ے	りか				19.4	2714 1997 2-11	男	年	試験日で		昭和			
1		名					女	令		才	平成 令和	年	月	日生
			(〒	_	)		都道 府県							
2. 4	見住	所												
ĺ	電話者	番号	電話番号	1(本人)	: (	)	_			※電	話番号1	・2とも	必ず記入	
						)				Ī (		_)		
3. F	近 属 杉	<b>製工</b> (3	現在所属	してい	る会社に	こついて記	入して下る	さい)						
	/   /     //	×1×1 (.	70 II// //A		<u> </u>			_ ' /		登	(地質詞	周査業者を	登録をしてい	ハる場合)
名 称 **						_								
	Ŧ	_	)				7 3 7 2 1	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,, , , ,	電話	(	)	_	
4.	学	歴	(最終学	歴を記	入して	下さい)								
学	2 校	名											卒業年	
	t 科名	部										旧相相	」・平成	
			++1+	*** *** **	(注 )テルンプ	- 7 兴快 (中兴	5 古	5 <del>  1.</del>	h 燃 料 去 兴 -	l-t- #	+叫+松		年	月卒
	※ <u>最終学歴が大学院</u> 、または、 <u>学校教育法における学校(中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援</u> 学校、大学及び高等専門学校)以外の場合、最終学歴の一つ前の学歴も記入して下さい。													
	学校4 学 部											昭和	1・平成	
	于 。 2科名	•											年	月卒
	et mea v	<b>-</b>				号を○でかる	こんで下さ	V) 3	※受験資格の	の詳糸	旧は受験	手引き	P2 を参照	Į.
5.	<b>叉</b>	食俗			。年以上 ◇卒業(	実務経歴3年	主以上) *	(受験手	引き P2(1) 2)に	該当				
			- 14	_ , 11 c	- 1 / (	> 14/4 UT III 9	, 0, 4/							
6 3	立野小	11年27	振込書	手続 日		_月日								
υ. 5	文映不	斗振込	振込依	振込依頼人名 (受験者名と異なる場合、記入して下さい)										

- ・受験の手引き(2ページ~)をよく確認の上、記入して下さい(※印欄は記入しないこと)。
- ・卒業年月や勤務経歴などでの暦の記入は、各項目で指定する和暦または西暦に従い記入して下さい。

※和暦の簡易表示:昭和-S、平成-H、令和-R

7. 勤務経歴					
期間(	和曆)	勤務先	名(部課名まで記入して下さい)	業務	の内容
年 月	目から				
年月	日まで				
年 月	目から				
年月	日まで				
年 月	日から				
年 月	日まで				
年 月 年 月	日から 日まで				
年 月 年 月	日から 日まで				
8. 講習会(研	f修)受講記	調べ		※受講加点制度	の講習会のみ記入
	間(和)	<u>暦)</u>	講習会名称・受講場	 <u></u>	修了書番号
年 月	日から	日間			
年 月	目から	日間			
年 月	目から	日間			
年 月	日から	日間			
年 月	目から	日間			
9. 実務経歴		※○囲	みの「助手・機長」は、機長と同等の役割の	場合には「機長」	を○で囲んで下さい。
調査期間(和曆)	○囲み		発注者(上段)及び調査名(下段)	所属	爲機関名(会社名)
	助手機長				
	助手機長				
	助手機長				
年 月から 日間	助 手 機 長				
	助手機長				
	助 手 機 長				
	助手機長				

※和暦の簡易表示:昭和-S、平成-H、令和-R

年 から	月日間	助手機長	
年 から	月日間	助手機長	
hr	п	п. т	
年 から		助 手機 長	
年		助手	
から	日間	機長	
年 から		助 手機 長	
年	B B	助 手	
から		機長	
年		助手	
から	日間	機長	
年 から		助 手機 長	
 年	н	助手	
から		機長	
年		助 手	
から	日間	機長	
年 から		助 手機 長	
年	月	助手	
から			
年		助手	
から	日間	機長	
年 から		助 手機 長	
 年	П	助 手	
から		機長	
年	月	助手	
から		機長	
年		助手	
から	日間	機 長	
年 から		助 手機 長	

10. 実務経験年数	満	年	カ月	※ 満	年	7	カ月
11. 主として従事 したボーリング (Oで囲んでください)	軟弱地盤の	基礎、ダ、	ム、トンネル	/、地すべり、鉱原	末、地下	下水、沿	显泉 )
12. 地質調査技士登録番号※	第	号	(当初登録年	三月日 <u>(西暦)</u>	年	月	日)

<sup>※「12.</sup> 地質調査技士 登録番号」欄は、今回受験する部門とは異なる部門の地質調査技士資格を 保有されている方、または過去に資格を取得し失効された方のみご記入ください。

## 令和6年度地質調査技士資格検定試験 実務経歴証明チェックリスト

※詳しくは受験手引き6ページ®をご確認ください。

令和6年 月

現 住 所

証明者との関係

日

#### (証明者の方へ)

- ・証明者は原則として代表取締役等の代表者となります。ただし、その代理として受験申込者の人 事権を有する方(人事部長、支店長等)も証明者として認められます。
- ・以前勤務していた会社等の実務経験も含め、現在の勤務先の代表者等の証明とします。この場合 は、以前の実務経験について内容等を十分に確認してください。

### (受験申込者の方へ)

・転職等により、複数の組織に所属していた場合は、当時の勤務先の証明をすべて取り付けること を原則とします。その場合、本チェックリストをコピーし使用してください。

### (受験申込者自身が代表者(経営者)の場合)

一般社団法人 全国地質調査業協会連合会 殿

役職名

氏 名

- ・役職名欄には、自身が代表者であることがわかるよう、必ず「代表者」と記入してください。
- ・証明者との関係欄には「本人」と記入してください。

次の(受験申込者)の実務経歴について、チェックリストを確認し、記載に間違いがないことを証明します。

(証明者) ※本欄は社判の押印でも可	(受験申込者)
会社名又は事業者名	氏 名
所 在 地	生年月日

項番	本人 チェック	証明者 チェック	項目
1			受験願書「9.実務経歴」に記載された実務経歴の内容は、下表 A の「記入する主な実務経歴の内容」に間違いない。
2			受験願書「9.実務経歴」に記載された実務経歴の調査期間は、受験者が実際に業務に従事した期間が正しく記載されている。
3			受験願書「10.実務経験年数」に記載された内容に間違いない。
4			(証明者が過去の勤務先の実務経歴や調査期間などを証明する場合) 上記の項番 1,2,3 に含まれる過去の勤務先の実務経歴などについても 間違いがない。

#### 表Α

受験する部門	記入する主な実務経歴の内容				
現場調査部門	地質調査を目的としたボーリング機器等の操作に関する実務経歴				
現場技術・管理部門	地質調査を目的とした調査・計測業務、現場技術管理業務等に関する実務経歴				

## 受験願書の提出前にご確認ください!

受験願書に不備がある場合、再提出となります。 提出前に今一度、記入漏れや添付書類の漏れがないか確認をお願いします。 □ 作成した願書の様式は、受験する部門の専用用紙を使用しましたか? □ 受験願書と受験申込サイトへ入力した内容に相違はありませんか? □ 受験地は正しく記入しましたか? ※願書提出後、受験地の変更はできません □ (現場調査部門) 「主な調査対象」の欄は、選択記入しましたか? □ 願書には現住所を記載しましたか? □ 記載内容の漏れ、誤字、チェックリストの漏れはありませんか? □ 講習会受講調べでは、対象となる講習会のうち、受講した講習会や試験実施までに 開催する講習会の受講予定を記し、また受講した講習会の受講証明書は添付しまし たか?(受験の手引き5ページ参照) □ 受験願書は控用として写しを保管しましたか?(推奨) ※願書提出後、願書の返却やコピー送付の申し出には対応いたしません。 □ 添付書類である健康保険証(写し)は、裏表はっきりと写っていますか? □ 健康保険証(写し)には、現住所が記されていますか? □ 添付書類に漏れはありませんか?(受験の手引き3ページ参照)